



# 希望の炎



## 全校朝会 2/14 (水) 校長講話「自然災害」より

### ○ 今、自身ができることを全力で！

報道によると、1月17日(水)能登半島地震で被災した輪島市の中学校では、学校が再開できないため、希望した約250人の中学生が100km以上離れた白山市の研修施設に集団避難しました。避難した生徒は、「少し授業できるから安心です」「友達といえるから楽しそう」と避難を前向きに捉えていました。

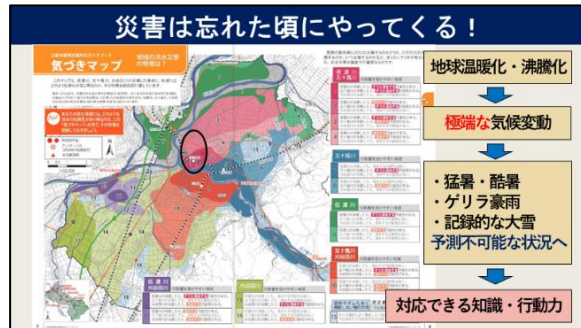
一方、穴水町の中学校では、学校が避難所になっており、ようやく登校した数人とオンラインでつないだ生徒との授業を開始しました。「みんなが元気そうでほっとした」「がんばって受かりたい」という生徒の声が聞かれました。被災した生徒の分も、今できることを全力で行うことが重要です。

### ○ 地球規模の地殻変動の恐ろしさ！

能登半島の北側は、地震の起きた1分間で約4m大地が隆起しました。地殻変動で海が後退したことにより、漁業関係者は港が全く使えない状況であり、東日本大震災よりも復旧が困難な見込みです。

### ○ 災害に対応できる知識・行動力を！

近年、地球温暖化・沸騰化が進み、何十年に一度という極端な気候変動が起きています。昨夏の猛暑・酷暑を始め、ゲリラ豪雨、記録的な大雪が予想されます。今後、災害の種類による知識を身に付けることとともに、災害時における行動力が問われます。来年度は、定期的実施している避難訓練後の防災教育の充実や災害時における学習用端末の家庭での使用について訓練をする予定です。



## 能登半島地震の募金活動について 1/22~24

ボランティア委員会の発案で、1月1日に発生した能登半島地震の被災者への支援のため、生徒玄関で募金を呼びかけました。ボランティア委員長は、「三日間という短い期間でしたが、皆さんの御協力により、たくさんの募金が集まりました。これで少しでも復興が進むことを願っています」と話していました。集まった12,204円は、日本赤十字社を通じて、被災地域へ届けます。生徒の皆さん・保護者の皆様、御協力ありがとうございました。



## 秀峰会活動「三位一体」の総括！ 後期総会実施 1/26（金）

今年度、秀峰会は「三位一体（三学年が一体となって、より良い三中を創る）」をスローガンに掲げ、努力事項達成に向けて活動をしてきました。①アンケートは、機会は少なかつたものの、学習用端末を活用して生徒総会についての感想・意見を集約しました。②大運動会や文化祭を始め、あいさつ運動、全校レクを通じて、学年を越えた交流が深まりました。③生徒朝会でSDGsに関わるクイズをするなど、取り組むべき課題を共有することができました。

併せて、委員会活動、部活動の1年間の活動を振り返り、今年度の活動を来年度へつなげる提言がありました。次回は、「予定した活動ができなかったのはなぜか」「予算が計上されているが、有効活用されているか」などの問題意識をもって、自主的・自治的な活動を支える活発な意見交換が行われることを期待します。



後半は、新執行部員、新委員長の委嘱式を行い、新会長から、委嘱状が手渡されました。新会長からは、これまで3年生がリードしてきた秀峰会活動を引き継ぎ、新メンバー・全会員とともに充実・発展させていこうとする力強い決意が感じられました。

## 臨時PTA総会にて規約を改正！ 1/26（金）

保護者数の減少、学年始のスムーズな運営、仰峰会関係の業務の削減などの理由から、規約の改正を協議しました。当日、出席した保護者・教職員40名と委任状172名と合わせて、改正案が承認されました。冬期間の御多用の折、御来校いただいたり、委任状を提出していただいたりし、感謝申し上げます。



	改正後	改正前
第5条 副会長数（若干名）※	4名	8名
第5条 学年委員の数	学級数×3名	各学級より3名
第6条 町内委員の互選	委員長を互選	委員長、副委員長を互選

※ 改正の必要はなく、変更になります。

## 3、4月 主な行事予定

4日（月）第64回卒業証書授与式  
 5日（火）生徒朝会  
 6～7日 公立一般入試  
 11～13日 2年修学旅行（関西方面）  
 15日（金）公立一般入試合格発表  
 19日（火）PTA五役会19:00～

19日（火）総務委員会 19:30～  
 22日（金）3学期終業式、離任式  
 公立2次学力検査  
 25日（月）公立2次合格発表  
 4月5日（金）始業式  
 4月8日（月）入学式（午後）



